

# 18. 就職活動の心得

就職戦線を勝ち抜いていくためには、早い時期から就職に対する意識を如何に高めるかが重要となる。その為には「就職」とは何かを考え、自分が進もうとしている業界が何を求めているかを把握する必要がある。そして、就職に対する自分自身の適性・能力を知ることが大切である。

## 就職活動と必要書類・手続

会社研究をする

- ◆ 情報を収集する。
  - ・キャリアセンターの過年度求人票閲覧
  - ・キャリアセンターの求人票閲覧
  - ・学科教員からの情報収集
  - ・インターネットによる情報収集
  - ・就職情報誌による情報収集
  - ・新聞、タウンページによる情報収集
- ◆ 就職見学会（就職セミナー・就職説明会）へ参加する。
- ◆ **就職活動 虎の巻を熟読する（J-WEB 内に掲載）。**

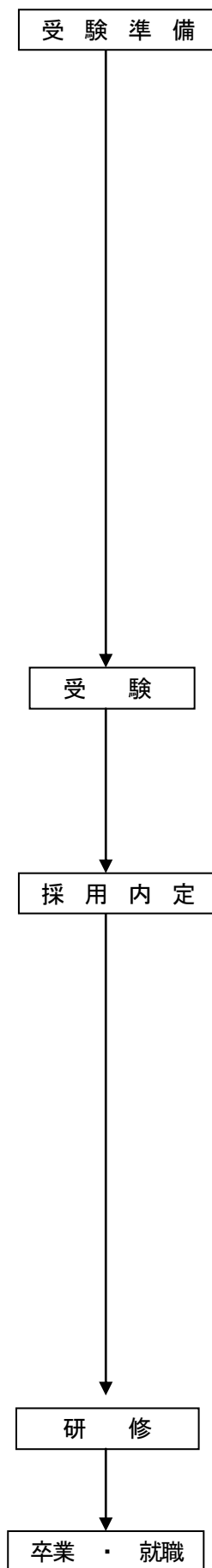
個人面接を受ける

- ◆ 「就職希望先調査カード」を提出。
- ◆ Uターン就職を希望する場合は希望地域・業種・職種を申し出る。
- ◆ 就職見学先の選定。
  - ・学科教員（学科長・担任）、キャリアセンタースタッフとの相談の上で、就職見学先の選定を行う。
- ◆ 就職見学会へ参加する。
  - ・就職見学会参加希望先が決定すれば、見学の申込みを行い、「就職用病院・施設・企業等見学訪問届」を学科に提出。
- ◆ 就職見学会参加後には、「訪問報告書（病院・施設・企業）」を学科に提出。（受験意思の有無を確認）
- ◆ 受験先の選定。
  - ・就職見学会に参加し、受験希望の場合には、担任、学科長、キャリアセンタースタッフに相談し、アドバイスを受ける。
  - （「求人票」「求人情報」等より勤務条件等を再確認した後に受験意思を確認）

「受験申込書」「証明書下付願」を学科長に提出、申請手続きを行う

証明書類の発行を受ける（成績証明、卒業見込証明、健康診断等）

- ◆ 履歴書、提出書類を受験先に提出。
- ◆ 就職受験日が決定すれば「公欠届」を学科に提出。



- ◆ 受験に臨む心構え、注意点等のアドバイスを担任、学科長、キャリアセンタースタッフから受ける。
- ◆ 模擬面接指導を受ける場合には、受験日までに余裕を持って指導を受けるように心がける。
- ◆ 筆記試験（教養、専門、適性、論作文）対策を日ごろから行っておく。
- ◆ 時事問題対策として、新聞は毎日読むこと。
- ◆ 持参物のチェックをする。
- ◆ 交通機関、所要時間等を調べる。（遅くとも指定時間の15分前には到着する）
- ◆ 服装・身だしなみのチェック
  - ① 髪型 茶髪、長髪禁止。
  - ② 爪 マニキュア、付け爪禁止。爪は短く切っておくこと。
  - ③ アクセサリー すべてのアクセサリーを禁止する。
  - ④ 化粧・香水 化粧は色が濃い、香りの強いものを禁止する。香水も禁止。
  - ⑤ 服装 スーツ着用。清潔さを心がけ、社会人、学生として、ふさわしいものを着用する。

- ◆ 受験当日
  - 絶対に採用されたいという強い意志で受験する。
  - 面接では大きな声で明るく、ハキハキと元気よく応える。

- ◆ 受験終了後は担任、キャリアセンターに受験報告を行う。

**「就職受験報告書」を担任に提出**

- ◆ **「進路内定届」を担任に提出**

- ※必ず受験先へ内定礼状を送付すること。
- ・お世話になった方々へ内定の報告をする。
- ※一旦採用内定が出たら、内定取り消しはできない。

- ◆ 採用試験不合格の場合
  - ・担任・キャリアセンターに報告し、不採用の原因を分析。
  - ・個人面接を受け、次の受験先の選定をすすめる。

- ◆ 内定後も学校生活を充実させ、気を引き締める。

- ◆ 国家試験合格に向けて全力をつくす。

- ※ 内定は就職採用決定ではない！ 医療系国家試験不合格の場合は、内定取り消しとなるため、国家試験合格が採用の条件となる！
- 社会福祉系国家試験不合格の場合も、内定取り消しの場合があるため、国家試験合格に向けて全力をつくすこと！

- ◆ 時間に余裕があれば、積極的に研修に参加する。